

神奈川ウォーキング参加 H25-02

関東ふれあいの道 NO.1 三浦・岩礁のみち

【関東ふれあいの道】第3回

第150回例会

三浦三崎荒磯のスリルを味わいに行く

日時：平成25年7月15日(月・海の日)

集合：京浜急行三浦海岸駅 9:45 京急バス(劔崎行) 10:11発

コース：三浦海岸駅<バス>→松崎バス停→間口漁港→劔崎→江奈湾→白浜毘沙門天→(毘沙門児童公園)→盗人狩→宮川湾→宮川バス停→京急・三浦海岸駅 案内では10,3kmとなっています。

参加者：吉越(L)・神谷(SL)・関根(SL) 3名 合計32名

【劔崎灯台班】山内(班長)・藤崎・常盤・平林・高橋文・青松秀・内田成・福士・鈴木淳 9名

【江奈湾班】熊坂(班長)・吉野・板垣・内田絵・村上・小林・北村・落合・奈良・伊藤真 10名

【盗人狩り海岸班】熊島(班長)・平嶋・戸田・仲・小野里・斎藤優・中村・河野・加来・高林 10名

三浦半島の先端、東京湾浦賀水道側の【劔崎】相模湾側の【江奈湾】【毘沙門湾】【宮川湾】の浜辺を歩きます。<宮川バス停15:40 伊藤19,300歩、自宅~駅を差し引くと17,00歩、約11km>



① 三浦・岩礁のみち 10.3km 所要3時間

三浦半島の先端部の海岸沿いを歩くコースで、浦賀水道や房総半島を眺め、磯遊びを楽しみながらハイキングができるコースです。

このみちは 盗人狩りにかかる水筒

神奈川県の起点は久里浜のフェリー乗り場ですが、ここから松崎バス停(三浦市南下津町松崎)までは連絡区間となっています。(バスと徒歩での接続)。この途中の三浦市に首都圏内初の三浦インフォメーションセンターがあります。1番コースの起点は松崎バス停です。ここから間口漁港までは歩道を歩いて1.6kmで、夏はスイカ、冬は大根湯と四季を通じ農産物が目に入ります。間口漁港から湾をまわって海岸を行くと景の素晴らしさのひたひたの磯(つるぎざき)です。磯の上には、東京湾の玄関口・浦賀水道への船路を隔らす劔崎灯台が立っています。さらに岩壁を基石と江奈湾です。これより歩道を歩いて、左に干潟を見ながら坂を上ると三浦七福神のひとつ白浜毘沙門天入口です。先の中を歩み、坂を下ると白浜毘沙門天です。ふたたび海岸に出て、寝つたいに歩くように豊沙門洞窟があります。豊沙門洞の中ほどに憩園公園があり、洞を目の前にして休憩するには良いところです。洞をあとに、磯そして干潟を過ぎると盗人狩に着きます。岩壁をさらに進み、左に磐石山を見ながら右に曲がって行くと宮川湾です。約300mの坂を登ると終点の宮川町バス停です。なお、このコースは磯や岩壁等を歩くため、足下に十分注意すると共に、高波時や荒潮時には、歩かないところもありますので注意してください。

起点⇒三浦市南下津町松崎：松崎バス停(京浜急行三浦海岸駅から劔崎行または劔崎経由三崎東回りバス15分)
 終点⇒三浦市宮川町：宮川町バス停(京浜急行三浦海岸駅へバス25分)

【関東ふれあいの道】第1回：平成25年5月25日(土)⑤「稲村ヶ崎・磯伝いのみち」⑥「湘南海岸・砂丘のみち」。第2回：6月27日(木)⑦「大磯・高麗山のみち」。今回第3回は、【関東ふれあいの道・神奈川県】スタート①「三浦・岩礁のみち」です。ここは過去に歩いた経験が有り、奇形岩壁、波状の岩畳、白いしぶき、色鮮やかな海藻が忘れられず、第一趣味の明日のゴルフも有りましたが、伝助に指が引き登録してしまいました。

①三浦海岸駅：京急バス10：11発「剣崎行」バスを待つ。今回の総括L平野さん体調完全回復されておらず、



素晴らしい案内書とガイドマップを、代役地元詳しい吉越さんにお渡しして御別れました。残念です、早期回復祈願致します。

②スイカ畑を見ながら行くと、早速スイカ露天店有り。しかし買いません。冷したスイカ持参されてました。



③間口漁港で戸田さんによるストレッチ



④神谷S Lから【関東ふれあいの道】の説明。合計32名の参加で、3班に分け班長紹介。洒落た名前を付けられ最初は班長さん集合かける時、名前がすぐ出ない。しかしお陰さまで後半、現地を歩くと頭に残りました。



班長は山内さん・熊坂さん・熊島さん、バリバリのヤングマン&ヤングウーマン！よろしく！

⑤【劔崎】県景勝50選。いきなり険しい岩壁沿いを歩きます。湾に出ると「岩畳」で貝を探す余裕も出ました。



劔崎灯台：希望者のみ神谷SL案内。浜で「冷えたスイカ」を美味しく戴きました。運搬係担当された青松さん、山内さん御苦労様でした。午前中は風もなく湿度高く正しく猛暑！汗・あせ・アセ！冷えたスイカ最高！



遠近の灯台です



つるぎ さき
劔崎の由来

劔崎の名のおこりは、徳川時代の萬治年間(1658~1660年)であるといわれている。徳川幕府の官材を積んだ五百石船が、この沖で暴風のため難破し、木材もろとも船は海底に沈んだ。そこで海南神社の神主が海に劔を投じて龍神の怒りを鎮めてもらおうと祈ると、すぐに風波が静まり、沈んだ官の木材がごとごとく浮かび出たので、それをくり船で磯に運んだという。これにより、この地を劔崎というようになったと伝えられている。

また、断崖の上に立つ灯台は、明治4年に点灯、震災で破損後大正15年に再建され、千葉県野島崎灯台とともに東京湾の重要な灯台です。

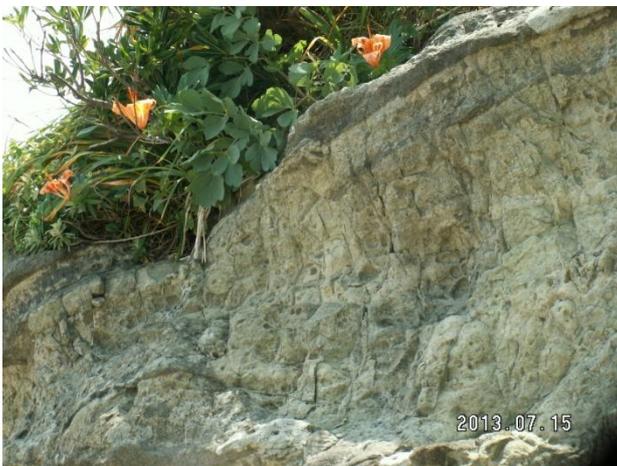
環境省・神奈川県



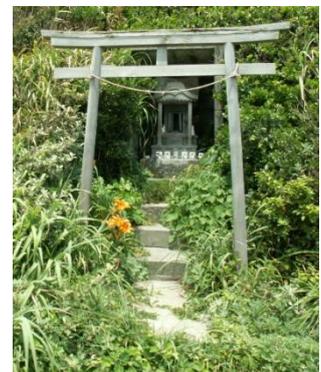
浜に打ち上げられた海草の絨毯。
透き通った入江の海水。
連休と云うのにテントはまばらでした。
孫を連れてきたら大喜びで遊ぶでしょう。



ハマカンゾウ (浜萱草)：葉が厚くて光沢が有り、海岸の崖地・急斜面に生育する。ユリ科ワスレナグサ属。
 (白いヤマユリも咲いていましたが違うようです・・・調べてみました。ノカンゾウもよく似ているようです)



(マップにはヤマユリ自生地と記されておりますが、ハマカンゾウが目立ちました)



⑥毘沙門湾：給水タイム、日陰がない、ポールの日陰に立つ人？ユーモアたっぷり 貝を探す人？



岩壁&自然に出来た大小の洞窟





歩きやすい所と岩壁に身を寄せ、狭い岩道を通り抜けるスリル満点?のウォーキングです。お腹もすいたよ～



⑦昼食（12：10～12：50）「松輪漁港会館」前の木陰で広げようとしたら、「レストランの前ではご遠慮願います」。御注意を受ける。 ↓この建物の日陰で昼食。今日は3連休、釣人が引き揚げる時間でした。



採れたてのタコとアジを即売していました。婆さんと話をしたのですが



2階にレストランがありました。お店には釣用具が多く有りましたが、お土産にするものは有りませんでした。釣れなかった人は露天の魚を買っていくのでしょうか？トイレだけ借りて、失礼しました。

「松輪漁協」昼食後から江奈湾を毘沙門天湾に向かいます。午後は少し風が出てきました。



白浜 毘沙門天
 白浜毘沙門天は、三浦七福神の一つです。ここは持陽山慈雲寺毘沙門堂と称し、本寺は応安元年(1368年)妙謙和尚によって開かれたもので、毘沙門天は行基の作と伝えられ、古来より正月三日酉の刻(午後6時)には必ずありがたい神示があると信じられ、近郷近在から多数の参詣、参籠があり、智恵と勇武の守り神としてあがめられております。特に北方を守る武神とされ、厄除け、恵方の毘沙門天であります。三浦七福神とは、あと金光恵比須(円福寺)・鶴岡福祿寿(妙音寺)・釜龍弁財天(海南神社)・桃林布袋尊(見桃寺)・長安寿老人(白髭神社)・寿福大黒天(延寿寺)です。
 環境省・神奈川県



↑「猛暑対処法スタイルをお教えしま〜ス」～体調と美肌を守ります、カッコいいで

しょう〜赤と黒のブルース?〜どこの国からおいでですか?

⑧ 毘沙門洞窟：伊藤代表一人で草むらを掻き分け分け、探険して来ました。

神奈川県指定史跡
毘沙門洞窟 弥生時代住居跡群
 昭和三十五年十一月四日指定
 これらの海蝕洞窟は、弥生時代から平安時代まで住居、墳墓として利用されたものです。この洞窟からは、おもに弥生時代の漁撈技術を物語る鉄、青銅、鹿角製の釣針、鹿角製の筥などの漁撈用具、アワビ貝で作った貝包丁などの農耕用具、腕輪やかさり棒などの装身具類が出土しています。取っ手の人たちがこれらの漁撈用具などを使用し、当時の貝や魚、また獣類の骨も多量出土して、出土遺物は種類、数量ともに豊富で当時の生活を窺えて貴重な遺跡です。
 さらに、鹿の骨を焼いて吉凶を占った「卜骨」が出土した遺跡として知られています。
 なお、弥生時代から平安時代にかけて、とくに平安時代には墓地として使われたようであり、埋葬された人骨も見られています。



お札と御酒が御供えしてありました。弥生時代の住人も浜で魚や貝海藻を採り食べて、この洞窟から相模湾を眺めていたのでしょう



↑ 洞窟出口で皆さんが手を振って御迎え、眺めよいでしょう↑！スリル満点の岩丸太切株渡り。高潮や波しぶきが有る時は先ず無理です。皆さん軽やかでした！



“口を開けたお魚、餌頂戴”

↓「江奈湾班集合写真」何故かあと2班写真有りません？(撮った積りでしたが失礼) ↓「最終しんがり3人組」



⑨【盗人狩】：昔盗賊が追われて、この山の端まで来て下を見ると、恐ろしい断崖(高さ約30m)と怒涛のさか巻きに、ぞくぞくと身震いして足がすくんで動けなり、たやすく捕まった所といい、それで【ぬすとがり】の名が残っています。この波のうねりは大蛇のように、うねうねと寄せては砕かれ、その都度荒々しい音をたてます。今日は穏やかで、釣り場に最高の場所の様です。(看板が汚れており見難いので、書き写しました)

三浦層の学習：深海の底で作られたマントル対流に乗って台地が動き、現在の場所に三浦半島が出来た。2000～3000mの深海の底で太平洋の斜面にあったマントル対流によって、沈み込む太平洋プレートの堆積物がこの地層だと云う。1200～400万年前の間、その殆どが海底火山の噴出物という。



30mの崖淵
を合成しました。
(PCから引用)



人物のいない「盗人狩」の岩畳と絶壁も良いでしょう！↓



⑩宮川湾：ヨットハーバー。ここで戸田さんクールダウンストレッチ。ラジオ体操も取り入れて楽しく、(横縞シャツがよくお似合いのお二人です)



⑪【宮川町バス停】：ヨットハーバーから約30mの絶壁の上の道路が終点「宮川町バス停」です。15:15のバスは諦めて、16:19発とする。今日のコース終着点【宮川町バス停】証拠写真を代表でモデルになって戴きました。



バス停には下見された吉越L・神谷SL・関根SL時、確認済みの「たかなし」↑が有り、冷えた缶ビールで乾いたのを潤す。皆さん大満足。有難う！

⑫アフターウォーク in 「魚火亭」

アフター組はバス終点「三浦海岸駅」一つ前の「三浦海岸バス停」で降り三叉路の角に有る。ここも地元吉越さん他既に味見済の所。5テーブルくじ引きで決める。なかなか良い発想で御見合い相手が楽しみでした。



【今日の思い出：真純感想文。「魚火亭」サザエの殻で創作生け花。小石は全国旅の思い出、海辺の恋(小)石】

編集後記：天候は快晴でしたが、午前中風が無く蒸し暑く、お茶もペットボトル3本と過去最高でした。午後は少し風が吹きましたが、波しぶきも殆どなく、荒磯歩きには足元も水濡れなく滑らず安全でした。9月【③荒崎・潮騒のみち】H26/6月【④佐島・大楠山のみち】H26/7月【②油壺・入江のみち】で三浦半島の磯歩き完了です。お楽しみにしております。くじ引きアフターではNO5テーブル、同じ山口出身の内田成さんと同席になり、今日は「海の日」にちなんで、別席の絵美子夫人との海の旅や子供の頃からのお酒教育のお話をお聴きしながら、熟女は中村さんと関根SLさんで料理はお任せ。殻入りサザエの刺身にビール&冷酒楽しく美味しく飲ませて戴きました。明日ゴルフ1時間半車運転、愛妻からも飲み過ぎないように携帯ご注意あり。17時過ぎ健康的な時間で解散。自宅到着21時半、お風呂に入りビールだけで止める。7/16(火)ゴルフの結果は？100叩きの刑は受けませんでした。下見された吉越L・神谷SL・関根SL、山内・熊坂・熊島各班長の皆さん有難うございました。いつもの拙いボケ防止用の日記帳です。失礼な記述や誤記がありましたら悪しからず。